

3年生が総合的な学習の時間で学習した内容とその成果を紹介します。

## 募金活動

### ○実施した理由

- ・一般的な支援方法であるため
- ・イメージがしやすく、参加しやすいから
- ・モノや食べ物、薬など広い範囲で支援が可能であるため
- ・新型コロナウイルス感染症対策として、栄養剤などを寄附できるため

活動を始めました。

### ○活動について

まず初めに、募金活動を計画していたクラスのリーダーが集まり、各クラスの役割を決めました。次に、集金後のお金の管理方法を検討して、告知用のポスターや募金箱の作成をしました。準備が整い、9月13日からの3日間に、毎朝、校内の各階の踊り場で募金活動を行い、終了後に集計をしました。募金活動を行いながら、校内放送で募金への協力の呼びかけも行いました。

募金期間の終了後、ユニセフに連絡をし、集まったお金1万2907円を全額ユニセフの活動資金として寄附しました。

## 文房具回収活動

### ○実施した理由

- ・学校にいらない子どもたちを助けられると思ったから
- ・子どもたちが教育を受けられるようにしたいから
- ・便利なものを送ってあげるのが一番力になれると思ったから
- ・家庭内に寄附しても良いものがたくさんあったから
- ・ごみの削減にも繋がるから

活動を始めました。

### ○活動について

まず初めに、寄附をする際に文房具がどのような状態であれば、受け付けてもらえるか調べ、回収をした後に送る場所を決定しました。また、調べた上で、どのような文房具が多く集まるかを予測し、回集箱の組み立てや回収協力の呼びかけを行いました。回収したものを見分類別に集計し、それをリサイクルショップを通じて、東南アジアなどの発展途上国で困っている子どもたちの元に届けました。

### ○集まったもの

鉛筆：294本、ボールペン：55本、色鉛筆：5セット、ペンケース：1つ、メモ帳：1つ、  
消しゴム：22個、絵の具：1セット、クレヨン：70本、定規：12本、ノート：24冊

ご協力ありがとうございました。

## **書き損じはがき回収活動**

### ○実施した理由

- ・はがきなら、多くの家庭にあると思ったから
- ・換金することで発展途上国への活動支援、生活支援ができると考えたから

活動を始めました。

### ○活動について

まず初めに、告知用のポスターを作成しました。そのポスターを地域の方々にも見て、協力していただくために、スーパーにポスター掲示の許可を依頼しました。また、回収BOXを作成し、浄水中学校だけでなく、地域の方々や幅広い世代の皆さんに協力をしていただきたいと思い、浄水交流館や浄水小学校、浄水北小学校に設置させてもらいました。

より多くのはがきを集めため、校内放送やポスターでの回収協力の呼びかけを行いました。期間終了後にはがきの集計、未使用と使用済みのものに仕分けました。そのはがきを郵便局で切手に換え、さらに切手を換金しました。換金したお金をユニセフに送り、海外へ寄附しました。

地域の皆様の多くのご協力があり、切手 42,418 円分となりました。  
多くのご協力、本当にありがとうございました。

## **ペットボトルキャップ回収活動**

### ○実施した理由

- ・ペットボトルキャップをワクチンに変え、発展途上国において、感染症で一日に亡くなる約 8000 人の子どもたちを少しでも減らしたいと考えたため

活動を始めました。

### ○活動について

まず初めに、ペットボトルキャップの回収を計画していたクラスのリーダーが集まり、ペットボトルキャップを提供する工場を決めました。また、地域の方々や幅広い世代の皆さんに協力をしていただきたいと思い、回収の告知用ポスターや回収 BOX を作成し、浄水中学校だけでなく、浄水交流館にも回収 BOX を設置していただきました。

より多くのペットボトルキャップを回収するため、放送やポスターで回収協力の呼びかけを行いました。回収後にペットボトルキャップの集計、汚れているキャップとそうでないキャップの仕分けと、汚れているキャップの洗浄を行いました。回収した全てのキャップを業者に届けました。

キャップは業者によって、資源として売られます。その売却益でワクチンの製造、購入が行われる予定です。

地域の方々の多くのご協力があり、85.6 kg、金額にして 1,530 円となりました。  
多くのご協力、本当にありがとうございました。

## **PR① (フェアトレードの紹介)**

### ○実施した理由

- ・少しでも世界の貧しい人々を助けたいから
- ・SDGsの一環にフェアトレードがあることを知ったため
- ・身近にフェアトレードがあることをたくさん的人に知ってもらいたいと考えたため
- ・フェアトレード商品を宣伝し、発展途上国の問題解決につなげたいと考えたため
- ・世界には本を読んだり、水を飲んだり、食べ物を食べたりすることが難しい人がいることを多くの人に知ってもらいたいと考えたため

活動を始めました。

### ○活動について

まず初めに、PR 活動の準備として、フェアトレードに関するポスターやパンフレット、紹介動画、Web ページの作成を行いました。世界の貧しい生活をしている人たちのこと、井戸を作り、支援活動を行っている方々がいることなど、貢献活動の幅広い分野で PR をし、フェアトレード商品を購入することなど、その方々に対してできる支援を紹介しました。

1・2 年生や地域支援室の方、交流館館長さんにフェアトレードを知ってもらうため、作成したポスターを 1・2 年生の教室だけでなく、浄水交流館、地域支援室にも掲示しました。また、動画を視聴した際に回答していただくアンケートも作成しました。そして、1・2 年生と交流館館長さん、地域支援室の方にプレゼンテーションをし、アンケートに答えていただきました。アンケートの結果は今後の活動につなげていきたいと思います。

## **PR②(モンゴルの観光)**

### ○実施した理由

- ・他のクラス、班とは違う面で発展途上国を支援したいと考えたため
- ・発展途上国の状況は、日本の経済にも関係があることを知ってもらうため
- ・観光というテーマに興味をもつ人は多く、発展途上国の支援につながると考えたため

活動を開始しました。

### ○紹介した内容

まず初めに、PR するためのポスターや動画、まとめサイトの作成をしました。そのポスターを交流館と地域支援室に掲示させていただきました。また、プレゼンテーション用資料を 4 種類作成しました。そのうち、一種類の資料は、総合的な活動での取り組みと PR をするため、校長先生、教頭先生、司書の先生にプレゼンテーションをする際に使用しました。残りの三種類の資料は、学校 HP を活用した PR をするためのプレゼンテーションで使用し、教頭先生に学校 HP への掲載の許可を依頼しました。

また、学校 HP に掲載する内容として、他の班の取り組みも紹介したいと考え、それぞれの活動紹介文の記入など、他の班のリーダーに協力してもらう許可を学年主任の先生と総合担当の先生に依頼しました。各活動のリーダーに活動紹介文の記入してもらい、それらをまとめました。

### 3年活動の成果

活動内容	成果
募金活動	¥12,907
書き損じはがき回収活動	756 枚 (切手 42,418 円分)
ペットボトルキャップ回収活動	85.6 kg (1,530 円分)
文房具回収活動	鉛 筆 : 294 本 ボールペン : 55 本 色 鉛 筆 : 5 セット ペンケース : 1 つ メモ帳 : 1 つ 消しゴム : 22 個 絵の具 : 1 セット クレヨン : 70 本 定期規 : 12 本 ノート : 24 冊

期間中、多くのご協力ありがとうございました。